

# 「行革」進める市長が630万円の車を購入

来年度予算案に驚くべき予算がありました。それは市長が乗る公用車の買い替えです。買い替えることが問題なのではなく、今と同じ黒塗りのクラウンロイヤルサルーンに買い替えるため、630万円もの予算を計上していることです。

県内13市を調べたところ、クラウンというのは四日市市と熊野市だけでした。プリウスが4台、アルファードが3台、その他エスティマ、カムリなどです。鈴鹿市だけはホンダ車でエリシオン、フィットEV、クラリティの3台を所有していました。

## クラウンロイヤルサルーンに乗りたいたのか

ちなみに市議会でも議長車の買い換え(630万円)の予算要求が検討されましたが、会派代表者会議でハイブリットの車でいいという事になり、結局、予算は360万円に削減しました。また、購入する車種も検討の結果、議長だけでなく議員も委員会単位などで動く時にも使えるようにワンボックス車にする予定で、有効活用できます。

市長車も価格が安く、燃費もよくて、環境にも優しい車にすべきではないのかと櫻井市長に質しましたが、どうもクラウンロイヤルサルーンに乗りたいたいようでした。市長がこれでは行財政改革などできるわけがありません。

この議会報告は毎月月初めに発行しています

好きです 亀山 住みよい街に

2017年 4月 2日 発行 No. 215

## こうきの議会報告

日本共産党亀山市議会議員 服部 孝規

〒519-0156 亀山市南野町6-19-1

ご意見、ご感想は 電話、FAX 0595-82-3646 (FAX番号が変わりました)

E-mail [kouki@za.ztv.ne.jp](mailto:kouki@za.ztv.ne.jp) 市議団ホームページ 「共産党 亀山」で検索を

## 亀山駅周辺整備事業の予算

# 可決はされたが執行は見合わせに

3月議会では、平成29年度一般会計当初予算案について修正案が提出されました。否決はされましたが、私の知る限り初めての出来事です。去年は市長が提案した条例案を修正して可決しましたが、議会の権限を生かした活動が強まっています。

さて、3月議会の焦点となったのは平成29年度予算に2億5千万円ほど計上された亀山駅周辺整備事業でした。代表質問、議案質疑、一般質問で取り上げられ、さらに予算決算委員会では、この事業に絞った集中審議が1日取って行われるなど熱心に議論がされました。

議員の質疑、質問の中では、平成18年から駅前地域で検討が始まり、長年、積み上げてきたことは尊重するけれど、全国の再開発事業は失敗例が多く、県内でも桑名市や久居市で失敗しているため、事業の採算が取れるのか、市民にいつ、どういう形で説明するのか、市の施設として何が入るのかなどが質されました。

しかし、これらの点が明らかにならず、予算は認められないという声が出されました。

## 「市民や議会の理解なしに、事業は進められない」

集中審議の後、討論、採決が行われ亀山駅周辺整備事業を含む平成29年度一般会計予算は、賛成9人、反対7人で可決されました。その後、予算決算委員会としての附帯意見が提案され、「亀山駅周辺整備事業については、一部の予算を除き、議会に設置予定の特別委員会における協議を通して、議会との合意形成が図られたうえで予算を執行されたい。」という意見を含め附帯意見が全議員で確認されました。

櫻井市長は予算決算委員会で、「市民との情報共有は大前提。市民や議会の理解が得られなければ事業は進められない。」と答弁し、この附帯意見を尊重する考えを示していることから、予算は可決されましたが、その執行は議会や市民の理解を得るまでは見合わせることになりました。

3月議会は3月27日に本会議が開かれ、すべての議案の討論、採決や特別委員会の設置が決まる予定です。(これは3月26日の時点での記事です。)

## こうきの日誌(3月1日～3月26日)

赤旗の配達、集金活動等は除く

1日 質疑、質問の準備	16日 総務委員会
2日 党市委員会	17日 亀山西小学校卒業式
3日 質問の準備	18日 市議団ニュースをサービスセンターへ
4日 亀山駅前問題で市民の会(準備会)	19日 南野町第一自治会総会
5日 質問の準備	20日 質疑の準備
6日 本会議(代表質問)	21日 予算決算委員会(総合計画案)
7日 亀山中学校卒業式 議案質疑の準備	22、23日 予算決算委員会(来年度予算案)
8日 本会議(議案質疑 総合計画)	24日 予算決算委員会(集中審議)
9日 本会議(議案質疑 総合計画以外)	25日 議会報告づくり 訪問活動
10日 本会議(一般質問)	26日 議会報告づくり
11日 県党会議 憲法カフェ	
12日 議案の読み込み、調べ	
13日 本会議(一般質問)	
14日 市議団ニュースづくり	
15日 党支部会議 中野たけしさんと街頭演説	



街頭から訴える  
中野たけしさん

この議会報告についてのご意見、ご感想をお寄せください

# 仮算定で25%もの大幅値上げ 国保税の県単位化

値上げの大きい上位5市町

市町名	平成27年度	仮算定額	値上げ額	アップ率
大紀町	9万9,467円	12万9,249円	2万9,782円	29.9%
尾鷲市	10万2,104円	13万1,749円	2万9,645円	29.0%
木曾岬町	13万2,043円	16万7,300円	3万5,257円	26.7%
亀山市	10万8,876円	13万6,124円	2万7,248円	25.0%
志摩市	10万7,937円	12万7,654円	1万9,717円	18.3%

国民健康保険制度が平成30年度から財政運営の責任主体が県に移行され、県から示される標準保険税・率をもとに市が決定することになります。三重県社会保障推進協議会では、3月21日に県の担当者を招いて出前講座を開催しました。この日の出前講座は、3月13日に開かれた「三重県国保運営協議会準備会」で初めて保険料・率の仮算定結果が示されたことを受けて開かれました。

## 県下4番目に高い値上げで、2万7千円の負担増

仮算定によれば、亀山市は県内29市町で4番目に値上げ幅が大きくなります。平成27年度の10万8,876円が平成30年度には13万6,124円になり、2万7,248円(率にして25%)という大幅な値上げとなります。

県は、30年度からの県単位化実施へ市町の担当者と繰り返し会議・調整を開催しながら国保運営協議会準備会に諮り、進めていく考えです。

## 櫻井市長 「なぜ、こんなに高いのか県に説明を求める」

この問題は、22日の予算決算委員会で福沢みゆき議員が取り上げ、櫻井市長の見解を質しました。櫻井市長は、「仮算定についてもなぜこういう数字が、多額の25%増が算定されているが、しっかり説明をしてほしいと県当局にも申し上げている。」と答弁しました。今でも「高くて払えない」国保税なのに、これほどの値上げが実施されれば滞納者が続出し、国保世帯の生活が破壊されてしまいます。市をあげて何としてもストップさせなければなりません。



### 歴史博物館への歩道が改修された

1月の『こうきの議会報告』で歴史博物館への歩道が、街路樹の根の張り出しで、盛り上がり危険な箇所が多いことを書きました。先日、通ったら左の写真のように直してくれてありました。担当部署の素早い仕事に感謝します。

# 郊外に3つもの大型商業施設の計画 これで「中心都市拠点の強化」ができるのか



3月議会で審議された第2次総合計画には、「将来都市像」として「中心都市拠点の強化」や「鉄道駅を中心とした既存市街地への都市機能の誘導」(亀山駅前の再開発もその一つ)が掲げられています。

しかし、現実に進んでいるのは中心部ではなく、郊外での開発です。左の図(塗りつぶした部分)は、国道306号線(県道鈴鹿関線)沿いの菅内町で進むオークワの開発(5万5千㎡ほど)です。

## 計画中の大型商業施設が田村町と川合町にも

菅内町だけではありません。3月議会の産業建設委員会に出された資料によれば、「大型商業施設に係る農業振興地域農用地区域の除外申し出」が川合町(右の図の国道306号線に接した丸い円内の部分で、申出人は(株)バローホールディングスー2万3千㎡ほど)と田村町で、田村町は隣接する大型商業施設(下の図の丸い円内の部分で4万㎡ほどー地元での説明ではイオンビッグが進出予定ー)のための調整池が目的の2件が出されていることが明らかになりました。



総合計画では、中心市街地へ都市施設や人口を誘導することを掲げていますが、実際に進行しているのは郊外での開発です。大型商業施設ができれば、その周辺に店舗や住宅の開発がさらに進むことになり、亀山駅前の再開発事業にも影響します。

## 子育て世代の一戸建ても郊外で増えている



また、中心市街地へは人口を誘導することも掲げていますが、現在進んでいるのは市北東部(井田川や川崎)方面での子育て世帯の一戸建てです。さらに市は、第一次実施計画で子育て世帯が市内のどこでも一戸建てを建てれば、課税される固定資産税相当額を一定期間、助成する制度を新設します。

こうしたことを進めれば、中心市街地への人口誘導どころか、郊外での一戸建てが増え、空き家がますます増加し、中心市街地の空洞化が進む恐れがあります。

「中心市街地の強化」という総合計画は、実態とかけ離れており、開発を規制する手立てもなければ「絵に描いた餅」になってしまいます。